

## 最近の東アジアにおけるオゾンに関する取組について

### (1) オゾン測定機器の供与

- ・ 「酸性雨及び黄砂モニタリングネットワーク整備計画」に係る無償資金協力について、平成18年12月20日に日中両国政府は交換公文を調印。
- ・ この中で中国国内の23観測地点にオゾン測定機器を提供する予定。
- ・ 機材の設置、引き渡しは平成19年度中に終了の予定。

### (2) オゾン簡易測定法の検討

- ・ 「東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)」( )では、オゾンは測定項目の一つであるが、測定方法が技術的に難しいことから、ほとんどの参加国で測定されていない。
- ・ このため、今年度、オゾンの簡易測定法を検討し、中国を含むEANET参加国への普及に努めることとしている。

東アジア13カ国が参加し、共通の手法を用いた酸性雨のモニタリング等による酸性雨問題に関する共通理解の促進、国際協力の推進等を目的とした政府間ネットワーク。

### (3) オゾンに関する共同研究の提案

- ・ 我が国より、日中韓によるオゾン研究フォーラムの設置について、平成19年7月13日開催の日韓環境保護合同委員会、9月4日開催の日中環境保護合同委員会等の機会を通して韓国及び中国に提案。
- ・ 今後、事務レベルで具体的な研究内容について議論を進めていく予定。